

九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワーク第6回勉強会

「畜産から農業へ、農業から食卓へ — バイオ液肥がつなぐ新富町の地域循環 —」

令和7年度 第2回 国内肥料資源利用拡大アワード
奨励賞受賞

2026年10月13日（火）

バイオ液肥研究コンソーシアム
代表企業 バイオマスリサーチ株式会社
西日本統括マネージャー 松野由佳

- 1．地域の課題からはじまった取組
- 2．地域みんなでつくった循環
- 3．農業現場で生まれた成果
- 4．次のステージへ

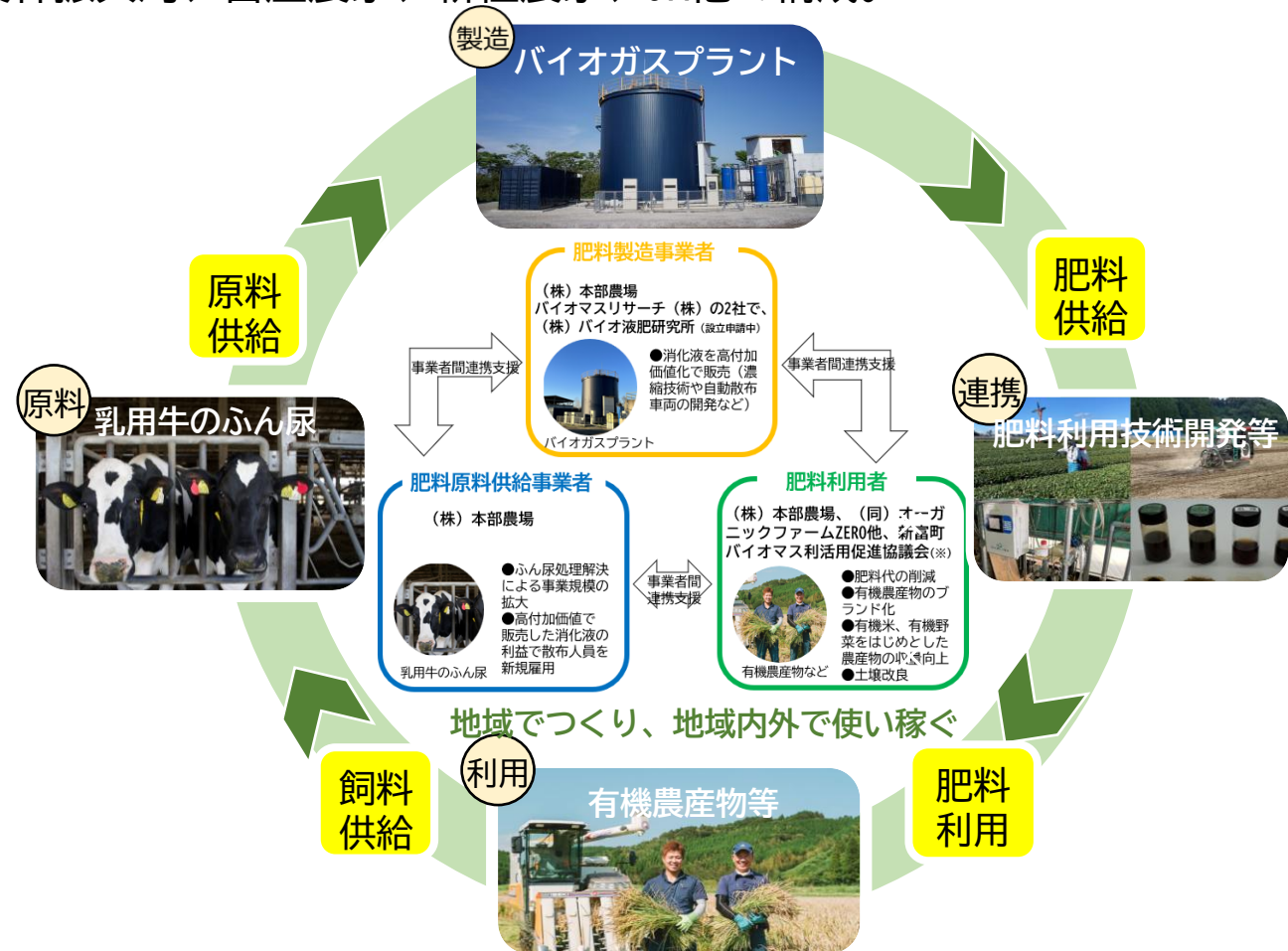
本部農場 バイオガスプラント導入の経緯

乳牛250頭 年間約8,000tのふん尿を処理し、バイオ液肥を生産



バイオ液肥は、現在約7割を自家圃場（デントコーン・牧草）、約3割を周辺農家（米・かんしょ・小麦など）へ散布

宮崎県、新富町、児湯農業改良普及センター、児湯農林振興局、畜産農家、耕種農家、JA他で構成。



10年以上、地域とともに育ててきた取組



本部農場
バイオガス
プラント導入

新富町、宮崎県、
バイオマスリサーチ(株)
三者連携協定締結



国内肥料資源
利用拡大アワード
奨励賞受賞

平成27年

令和2年

令和3年

令和4年

令和5年

令和5年

令和7年10月

令和7年

勉強会・
情報提供

調査・設計・建設
支援・工事監理

農林水産省
スマート農業実証
関連事業

★自動散布車両の開発

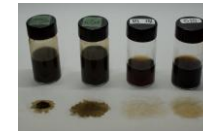


新富町畜産バイオ
マス利活用促進
協議会の発足

G7宮崎農業大臣会合
消化液活用の有機米・
野菜を提供

経済産業省
成長型中小企業等
研究開発支援事業

★濃縮技術の開発



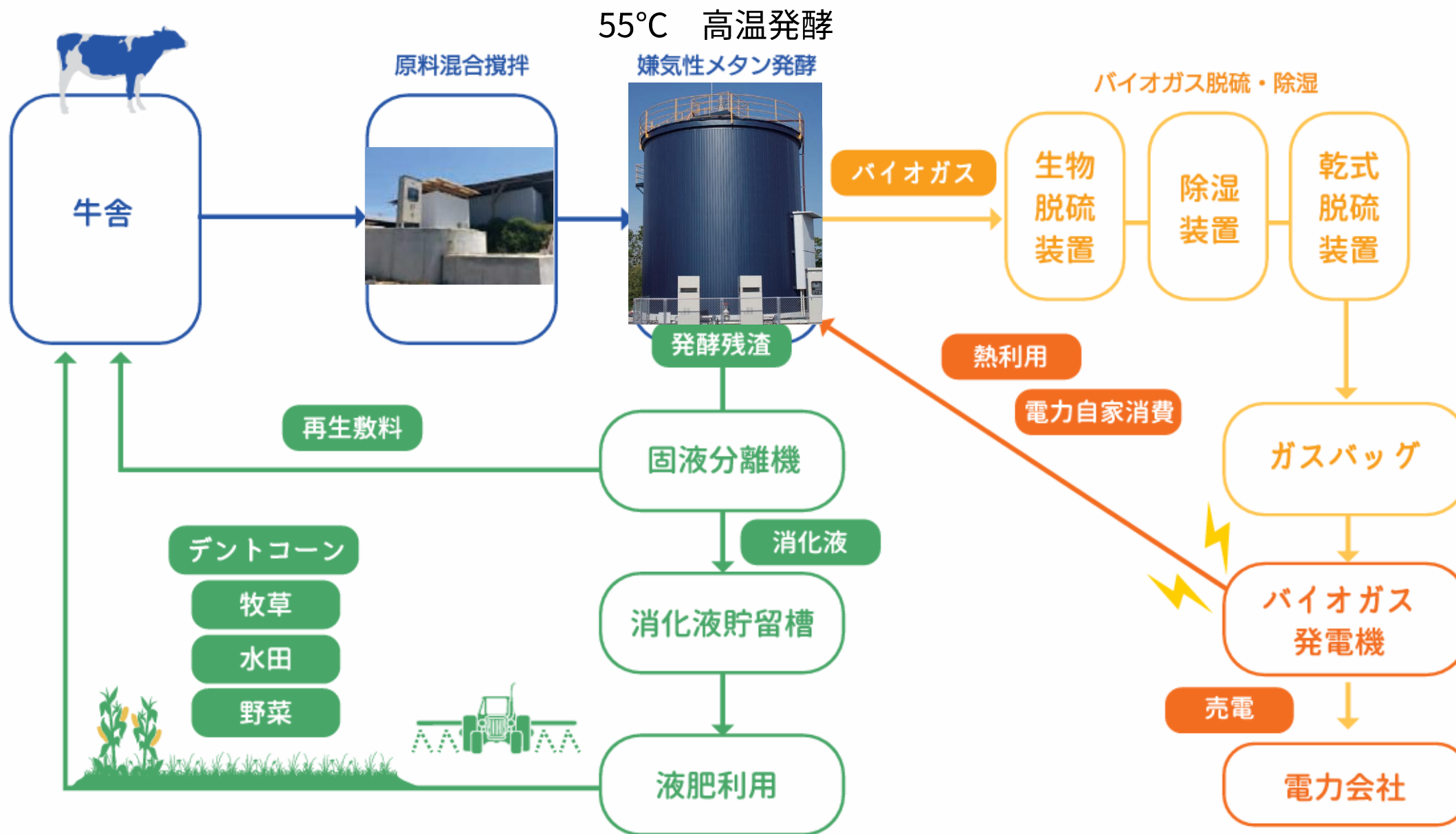
(株)バイオ液肥
研究所設立

(株)本部農場×
バイオマスリサーチ(株)

バイオ液肥
無償配布を実施
(トライアル)

バイオマスリサーチ(株)が勉強会から事業化・利用実証・技術開発まで、継続して支援

ふん尿が、電気と肥料に生まれ変わる。



バイオ液肥（消化液）



小麦（チクゴイズミ）

高温発酵による、雑草種子の不活性化

対照区（堆肥＋化成肥料散布）



試験区（バイオ液肥散布）



小麦実証：対照区（堆肥＋化成肥料散布）との比較

対照区（堆肥＋化成肥料散布）



試験区（バイオ液肥散布）



**本実証では、試験区（バイオ液肥）は、
対照区（堆肥＋化成肥料）と比べて、**

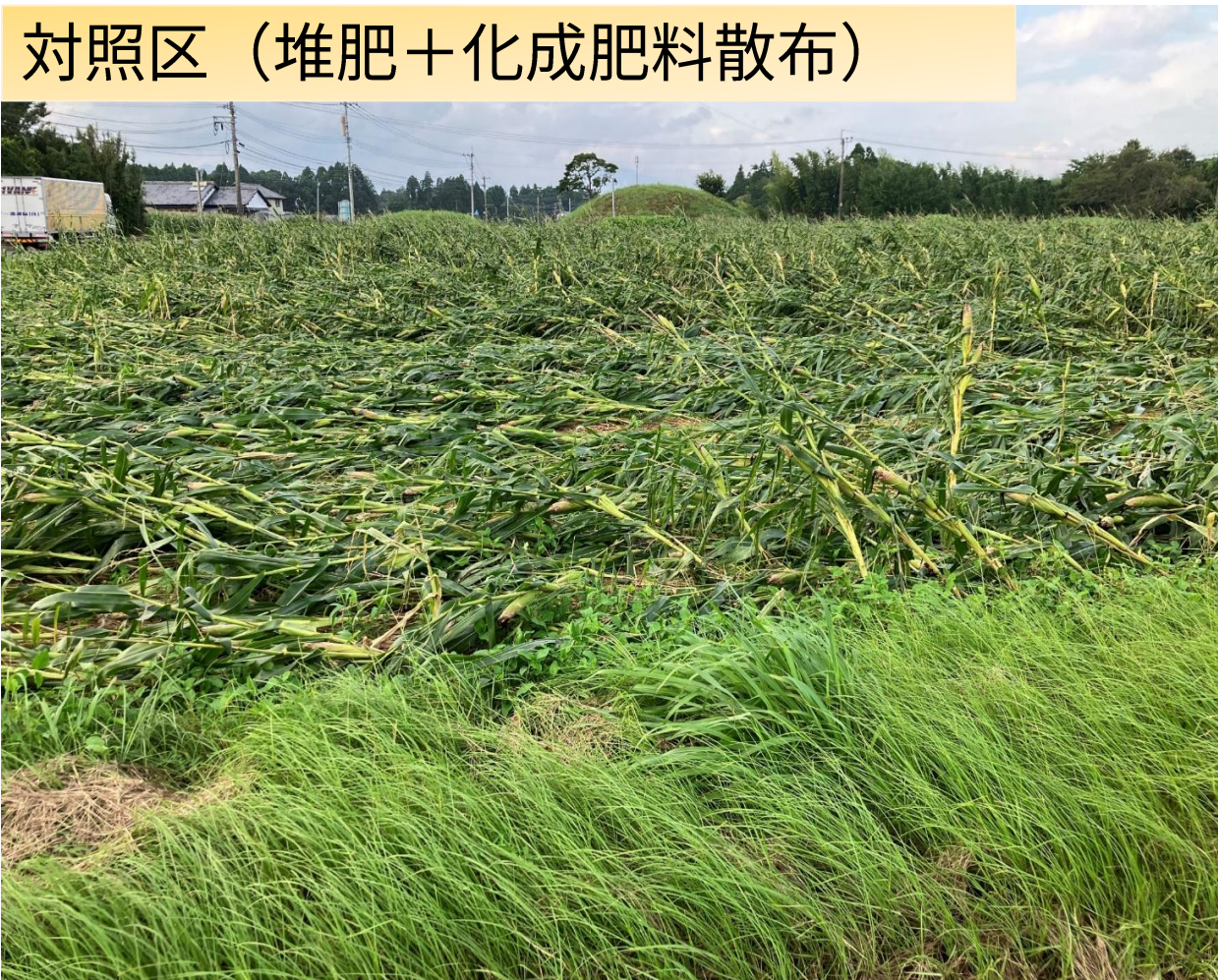
- ・ 雑草の発生や風による倒伏が少なかった
- ・ 稈長・穂長は短いが、穂数が多く、収量・タンパク質含有率が増加した
- ・ 肥料代を節減

台風の後に見えた、バイオ液肥の力

デントコーン（実証栽培）

- ・ 本実証では、台風の通過後、試験区（バイオ液肥を散布）は倒伏が少なかったことを確認
- ・ 肥料代の節減

対照区（堆肥＋化成肥料散布）



試験区（バイオ液肥散布）



原料用かんしょ（実証試験）

対照区（堆肥＋化成肥料散布）



試験区（バイオ液肥散布）



宮崎県児湯郡新富町、宮崎県総合農業試験場



茶へのスプリンクラー
散布試験



かんしょへの施肥試験



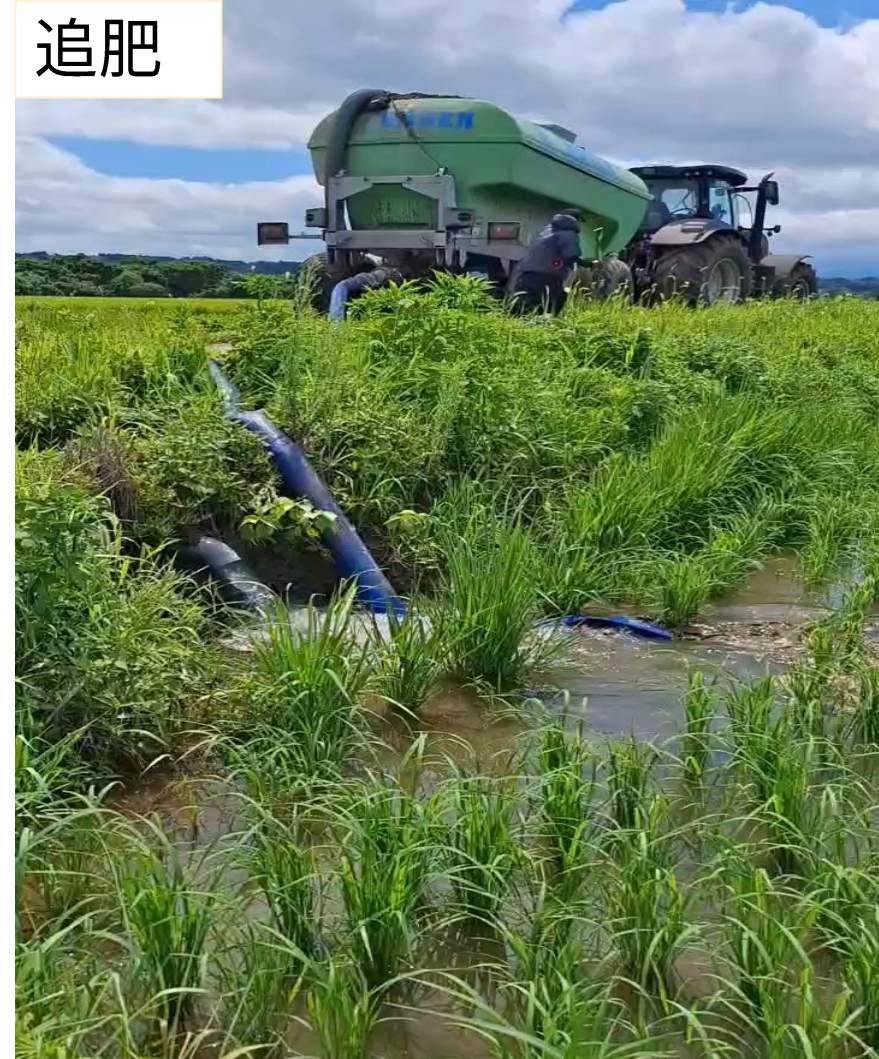
キュウリへの施肥試験

WCS用稲

基肥



追肥





有機JAS認証書



令和4年度
「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」
「有機農業部門」で農産局長賞を受賞



町内に有機米のおにぎり店を開業



G7宮崎農業大臣会合では、
バイオ液肥で作った有機米と有機野菜を提供



台湾へ有機米を輸出



バイオ液肥で育てた加工米で甘酒「稲倉」を開発。
町産ブランド品とし、ふるさと納税で取り扱い

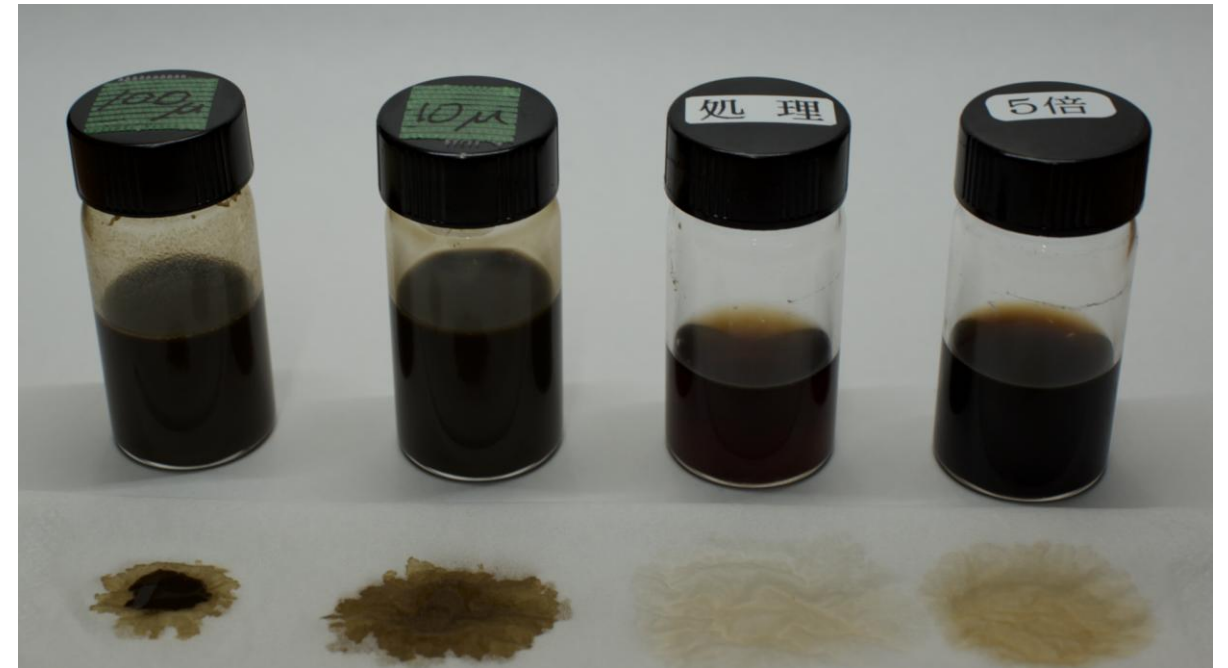
液肥を、もっと運びやすく。もっと撒きやすく。

バイオ液肥のさまざまな技術開発

小型自動散布車両の開発



濃縮技術の開発



地域肥料会社を設立



バイオ液肥研究所

Bio Liquid Fertilizer Research Institute



バイオ液肥研究コンソーシアム

**令和7年度 第2回
国内肥料資源利用拡大
アワード
奨励賞受賞**

「生産する液肥」から「地域で使い、地域外へ届ける肥料」を目指して

【参考】 バイオ液肥無料配布（トライアル）

実施日：2025年12月、2026年1月24日、31日 実施場所：本部農場



肥料品質表示

肥料の名称：本部消化液1号
肥料の種類：液肥
届出を受理した都道府県：宮崎県 第43-1-64号
養分表示の氏名又は名称及び住所：本部農場 本部博久
〒889-1406 宮崎県児湯郡新富町大字新富 12777-1

正味重量：10kg（10リットル）

生産した年月：令和8年1月

原料（原料）：乳牛ふん尿

主成分の含有量等：

窒素：0.5%未満

リン：0.5%未満

カリ：0.5%未満

炭素量：5

備考：

本品は肥料用途専用です。

施用後は土壌と十分に混和してください。

状況、ペット及び家畜の手の届かない場所に保管・使用してください。

成分値は分析値であり、保証値ではありません。



属性：30代～70代男女
用途：家庭菜園（個人）
業務用（農家）

地域で生まれた資源を、
地域の未来を育てる力に。

畜産から農業へ。
農業から食卓へ。
そして生まれた価値を、もう一度地域へ。

バイオ液肥研究コンソーシアム